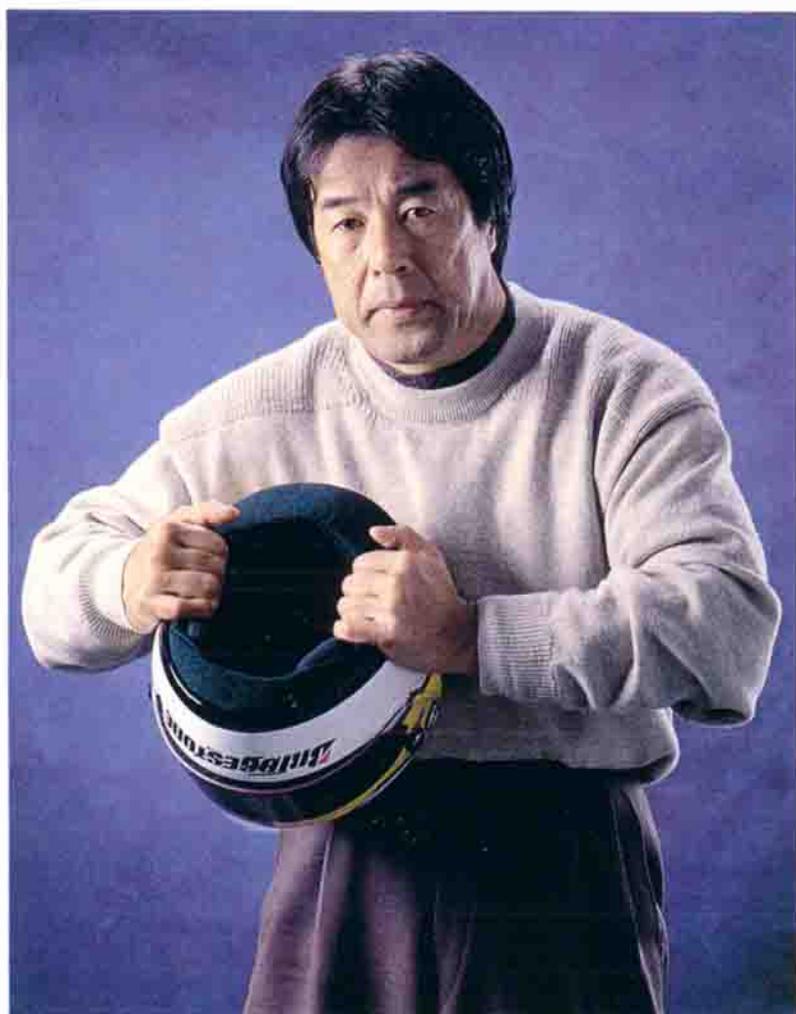




アライヘルメットも、今年の第30回東京モーターショーで3回目の出展となります。過去2回の出展でも何かとアライは、話題を振りまいてきました。



東京モーターショーの中のアライ

第1回目の出展である第27回東京モーターショーでは、アドシスZを派手なパフォーマンスでアピール。世界中のヘルメットのシールドシステムの流れを変えました。

第2回目の出展である第29回東京モーターショーでは、アドシス機構をさらに進化させたスーパーアドシスを発表。世界GPライダーのマイケル・ドーハン選手に実際にスーパーアドシス付きの彼のヘルメットを被ったままでシールドを脱着してもらったビデオを設置して、お客様にもドーハン選手といっしょにスーパーアドシスを体験していただきました。これをお読みになっている方の中にも東京モーターショーのアライのブースで、スーパーアドシスを体験なさった方がいらっしゃるの

ではないでしょうか？

このようにアライは、東京モーターショーの中でヘルメットの流れを変えるようなアクションをおこしてきました。

もちろんアライは、ヘルメットの基本的部分の開発も忘れてはいません。

むしろヘルメットは、目に見えない安全性に関わる部分が最も重要なのです。アライではお客様に安心してヘルメットを被っていただくために、お客様になりかわって心配して、ヘルメットを一つ一つ心をこめて作っています。

それは、ヘルメットの安全性において一番大きな要素である帽体の時間と手間をかけた二重検査であり、また前下端部はやや固く、周

囲は柔らかめに、頭頂部は優しく包み込むようにさらに柔らかい発泡スチロールで、頭に優しく作られている“3段発泡成型ライナー”でもあるのです。

又、このように目に見えない部分の信頼性、開発力が、世界のトップライダーや、トップドライバーにアライが支持されている理由の一つでもあるのです。



今年もアライは、東京モーターショーに、出展します。

今年は、アライの力強さ、やさしさをアピールしていきたいと思えます。

もちろん、新製品も発表しますのでご期待下さい。